

平成21年

12月5日(土)

9:30~16:45

(9:00受付開始/当日受付・無料)

会場:

平泉小学校体育館

(岩手県西磐井郡平泉町平泉字倉町155)

柳之御所遺跡の調査成果

西澤 正晴
(平泉遺跡群調査事務所)

平泉遺跡群の調査成果

島原 弘征
(平泉町教育委員会)

パネルディスカッション

司会者: 菅野 文夫
(岩手大学)

佐藤 嘉広
(岩手県教育委員会)

都市史から見た平泉

前川 佳代
(奈良女子大学)

〈基調講演〉

柳之御所遺跡の発掘調査
—日本史に与えた影響と意義—

河原 純之氏
(平泉遺跡群調査整備指導委員会委員長)

柵と居館から見た平泉

羽柴 直人
(岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター)

宗教から見た平泉

菅田 慶信
(岩手県立大学)

調査成果報告

- 柳之御所遺跡 平泉遺跡群調査事務所
- 無量光院跡 平泉町教育委員会
- 南日詰小路口I・II遺跡 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

ポスターセッション

- 長者ヶ原廃寺跡 奥州市世界遺産登録推進室
- 白鳥館遺跡 奥州市世界遺産登録推進室
- 人首川流域の平泉関連遺跡調査 岩手県立博物館

「平泉文化研究の今まで、
そしてこれから

—柳之御所遺跡の成果と展望—

主催 岩手県教育委員会
いわて高等教育コンソーシアム(構成大学:岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学)
平成21年度文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成」景観班

共催 平泉町・平泉町教育委員会・一関市教育委員会・奥州市教育委員会

後援 (財)岩手県文化振興事業団・(社)岩手県文化財愛護協会・(財)奥州市文化振興事業団・岩手考古学会・岩手史学会・IBC岩手放送・ICN一関ケーブルネットワーク・テレビ岩手・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・NHK盛岡放送局・エフエム岩手・岩手日报社・読売新聞盛岡支局・朝日新聞盛岡総局・毎日新聞盛岡支局・産経新聞盛岡支局・時事通信社盛岡支局・岩手日日新聞・胆江日日新聞社・河北新報盛岡総局・共同通信社盛岡支局

第10回平泉文化フォーラム

入場
無料

【問い合わせ先】

岩手大学教育学部漢文学研究室 TEL:019-621-6517 E-mail:yabu@iwate-u.ac.jp

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課(柳之御所班) TEL:019-629-6173

【当日の問い合わせ先】 柳之御所資料館 TEL:0191-34-1001

基調講演「柳之御所遺跡の発掘調査—日本史に与えた影響と意義—」

河原 純之 氏

講演の要旨

昭和 63 年から始まった柳之御所遺跡の大規模発掘調査から、すでに 20 年以上の年月が経過している。その間、重要な遺構や豊富な遺物の発見によって保存運動が起こり、遺跡保存の決定、国史跡の指定、そして世界遺産登録を目指す動きなど、柳之御所遺跡は平泉に大きな流れをもたらした。ここで、今までの柳之御所遺跡の発掘調査をふり返り、平泉研究に果たした役割、そして日本史に与えた影響を確かめ、これからの柳之御所遺跡について考えたい。

河原純之先生略歴

京都大学文学部卒業

奈良国立文化財研究所（現在の奈良文化財研究所）、福井県朝倉氏遺跡調査研究所、文化庁記念物課を経て千葉大学文学部教授等を歴任。

文化庁在職時には柳之御所遺跡の保存に関わるなど、全国の大規模な遺跡の保存と整備を推進した。現在、平泉遺跡群調査整備指導委員会委員長を務めているほか、全国各地の遺跡調査整備の指導を行っている。

専門分野

考古学（古代～中世）

史跡保護整備